

わたしたち、社会福祉法人玉柏会は、地域社会の中で「ともに生きる」ことによる「しあわせ」を目指していきます。



玉 柏 会



令和2年4月4日 撮影

みすず事業所 『お花見に行ってきました』

(於：清水 岡地区 八幡神社)

特集：令和2年度 社会福祉法人玉柏会の活動方針

目 次

特集：令和2年度 玉柏会 活動方針 理事長より	2
「ご利用者を守るための課題」・「玉柏会本部の活動」	3
玉柏会 各事業所 活動方針	4
放課後等デイサービス『オークリーブス』開所しました	5
かしわ寮だより/央原荘だより/新入職員紹介	6
みすず事業所だより/すずちゃんのひとり言	7
令和元年度 決算報告/ペアレントトレーニング/相談	8

社会福祉法人 玉柏会

本部 央原荘 みすず かりん
かしわ寮・すずらん・オークリーブス

〒424-0301

静岡県静岡市清水区央原362番地

☎054-394-0311 FAX 054-394-0312



「 コロナと向き合う 」

令和2年も早や6月、半分か過ぎようとしています。この半年は全世界がコロナ禍一色に塗りつぶされてしまいました。6月30日は夏越の祓(なごしのはらえ)に当り、全国の神社で半年間にたった罪や穢れを除き去る茅の輪くぐりなどの除災行事が行われます。古代から連綿と続いてきた行事です。わざわいの最たるものは古来目に見えない疫病とされてきました。令和のわざわいであるコロナ禍退散を祈ると共に、データや知見に基いた科学的対応策を徹底していきましょう。

この半年間、玉柏会では外部から菌を持ち込ませない、菌の保持や拡散をしないという方針の下、厳格な防疫体制を敷いてきました。又、3密を避けるべく面会や外出、短期入所を制限してご利用者やご家族の皆様にも防疫のご協力をお願いしてきました。職員やそのご家族にも窮屈な制約をお願いしました。お陰様で現在のところ、通所のみならず、入所の穴原荘、相談のすずらん、4月開所した放課後等デイサービスのオークリーブスの全施設で、感染はありません。この間、行事やイベントはすべて中止しましたが、ご利用者様の心の安心と安定を奪ってしまうようで本当に心苦しい限りでした。しかしさすが共生の玉柏会、写真入りメッセージカードの発送、ビデオレターの交換、芝生広場でのミニ運動会やティーボール大会、屋外でのBBQ、ドリフや寅さんのビデオ鑑賞など、3密対策を徹底して、皆さんで知恵を出し合った、従来にない活動を見つけ出してくれました。手前みそです。

今、あらゆる所で社会の分断が進んでいます。玉柏会では、色々な工夫をこらして語り合い、支え合う関係を強めていきたいと思います。

4月28日の毎日新聞朝刊に霊長類学者で京都大学学長の山極寿一氏の特別寄稿が掲載されました。非常に示唆に富んだ内容でしたので要約した一部をご紹介します。

つながる幸福と題して『特效薬が開発されていない現在、ウィルスの感染を防ぐ人と人との接触を避けるか、複数の人が触れるような共有物を排除するしかない。それは人類が進化と文明の歴史を通して育て上げてきた人のつながりを断ち切る事に等しい。人類は長い進化の過程を通じて、つながりを増やしてきた。脳が大きくなったのも、共感力が高まったのも、音楽や言葉が生まれたのも、人の輪を広げるためである。家族や共同体が生まれたのも、産業革命、工業革命、情報革命を経て現代に至ったのも、もとはと言えば多くの人とつながることが幸福への道だと信じていたからである。……感染を防止するために孤食を奨励され、移動を制限される今日の事態は、まさに人間の根源的な欲求を押しつぶす。……最も懸念すべきはこの分断によって社会に共感力が失われることである。感染を避けるためにコミュニケーションや人間同士の関係が変わる可能性がある。他者と分断されて自分の利益だけを考えるようになってしまえば、この感染症が克服されても幸福な社会は築けない。人々の分断と国境閉鎖が続けばどの国も他国、異民族、異文化に対してこれまで以上に不寛容になるだろう。そんな事態を招かないよう、多くの人と国境を越えて連絡を取り合い地球規模の新たな連帯を模索すべきだろう。』

コロナ禍以前から意見の相違による安易で単純な敵・味方のレッテル貼りが、日米共にはびこっています。玉柏会では各人の相違点を強調するのではなく、共感する点を見つけ出すニヤリほっと運動を展開しています。コロナ禍で少し不自由な世の中にあっても、共感する感性を持ち続けコンプライアンスを徹底していく風土作りに邁進していきます。



社会福祉法人玉柏会
理事長

海野和雄

●ご利用者を守るための課題について ●

常務理事 濱崎宣雄

新型コロナウイルスの感染拡大によって、今まで当たり前だった日常が失われてから4か月が経過しています。このような状況下、障害者を取り巻く環境は、さらに厳しいものがあると思いますが、各障害者支援施設は、この間、国や自治体の指針に基づき、それぞれに感染防止の対応を行っています。

当法人でも、施設内での感染を防ぐため、ご利用者やご家族の皆様に多くのご不便をおかけしていますが、さまざまな対応を、緊張感を持ちながら、皆様のご協力をいただきながら行ってまいりました。今後は地域の感染状況を注視しながら、制限を徐々に緩和していくにしても、引き続き、私達職員は日常の感染防止の徹底と公私に渡っての新しい生活様式を実践していかなければなりません。

また、今回明らかになったのは、他県の障害者入所施設で見られたように、感染によって福祉サービスの提供が不可能になったり、また福祉現場自体が崩壊する危険性があるということです。

それを防ぐためには、法人内での体制の整備は勿論のこと、マスク、防護服等感染防止資材の確保と供給、感染が発生した場合の人材確保や応援体制の整備、さらに自治体や医療機関との連携が必要であり、また在宅でお困りのご利用者やご家族をどのように支えるかなど、一施設では対応できない問題については、地域としてどのように取り組んでいくかを検討しなければいけないと思います。

感染が終息するまではまだ時間を要すると思いますが、今回明らかになった多くの課題を、法人内で、また地域において、ひとつひとつ解決していくことがご利用者の生活を守ることにつながっていくと思います。

また、当法人では、リスクマネジメントを重点項目として取り組んでいます。今回の感染拡大というような重大な事態への対応を含め、「事業継続」という視点を重視し、リスク管理をさらに進めていく予定です。

●令和2年度の玉柏会本部の活動

総務部次長 小長谷英春

令和元年度は、前年度の活動をより深化させる活動を行っていきます。特に今年度開所した新規事業の放課後等デイサービス『オークリープス』については、新型コロナウイルスでの影響で利用者への宣伝が思い通りにできず、定員の確保が急務となっています。障害児の療育をより身近に浸透し、より多くの方々が、障害を持った方々と共にしあわせな生活が営めるよう事業を進めていきたいと思います。

人材確保などについても、福祉業界全体として急務となっています。魅力ある職場を作ることも必要ですが、それをしっかりと地域へ配信して認知してもらうことも重要です。この会報もその役割の一つとして、読んでくださる人やまだ見たことがない人が手に取って、玉柏会の活動に興味を持っていただき、私たちの活動を理解してもらうことが人材の確保にもつながり安定したサービス提供が続けられると思っています。

働き方改革により様々な法改正が行われてきています。有給休暇の取得制度やパワーハラスメントへの対応など玉柏会も必要に迫られてではなく、職員のライフワークを重視した様々な福利厚生の上を目指して活動をしてきました。新型コロナウイルスの緊急事態宣言期間においても、全職員に一律で「緊急事態対応の給付金」の支給をし、現場の職員に対するエールと感謝の意を表しました。

今年度はさらに深化させた取り組みを行い、事業運営に邁進してまいります。

玉柏会各事業所の活動方針



穴原荘 令和2年度 活動方針

穴原荘の活動方針として4点あります。
『ご利用者情報の蓄積』では、ご利用者の得意・不得意とする事柄や特性を踏まえ、支援していきます。
『業務改善の実施』では、毎年の行事や日課を、効率的にならないのか考え実行していきます。
『委員会活動の深化』では、昨年度活発になってきた活動をさらに進めていきます。
『専門的支援の向上』では、自閉スペクトラム症を持

つ方、高齢の方の食事や転倒場面に注目し、アドバイスを受けながら進め、ご利用者の生活がより豊かになることを目標に取り組んで参ります。
コロナ禍の影響はありますが、ご利用者の皆様と楽しい時間を共有できるように行事や余暇を工夫しながら取り組んで参ります。

(支援課長 齋藤雅志)

みすず 令和2年度 活動方針

新しくフロアリーダーが配属され、5Sを基本に、より良い事業所を目指す上での第一項目に「業務改善」があります。日常の各職種役割や係業務における改善により、様々な「効率化」や「働きやすさ」の体制を目指します。また、鮮度を重視した漏れのない情報共有の体制を図り、引き続き「ご利用者の現状から」「地域性から」「福祉サービス上から」の視点によるリスクと

向き合い、ご利用者の「安心・安全」に努めて参ります。そして、就労支援事業所として、「生活力の向上」や「働くこと」に対し、ご利用者個々の意義のある収入アップに繋がる支援に向けて、日々工夫しながらも各職員が必要となる専門知識をより深めて業務に活かして参ります。(みすず管理者 鈴木利往)

かしわ寮 令和2年度 活動方針

昨年度のかしわ寮は主にご利用者の健康と安全を守る為、食事の改善・建物管理のシステム化非常事態に備えたシステムを作り、更にはソフト面の充実を行い、そしてそれを如何にご利用者自身で活用できるか訓練を行っていく事を主に行ってきました。お陰様でAEDの設置と職員のAED訓練、契約しているアルソック様と穴原荘職員、ご利用者様が連携した非常事態訓練、毎月の建物管理とKYT訓

練を定期的に行えました。今年度も昨年度の反省を活かしながら、毎日常時の取り組みはもちろんの事、非常時にご利用者が安心して過ごせる環境を構築できる様に取り組んでいきたいと考えています。今年度も宜しくお願い致します。

(かしわ寮世話人 土井友員)

すずらん 令和2年度 活動方針

令和2年4月1日、すずらんは、JR興津駅前から清水区南岡町(梅陰寺横)に移転致しました。
2015年4月に「相談支援事業所すずらん」として開設されて丸5年が経ち地元の方々をはじめ、市内にお住いの障害をお持ちの方々の福祉サービス利用に際し、サービス等利用計画の作成を担わせていただいております。

今回の新型コロナウイルス感染対策を機に、皆

様との関わり方にも工夫を凝らし、より安心・安全なサービス提供が出来ます様、努力致します。

また、同一の建物に放課後等デイサービスの「オークリーブス」が開設し、近隣には、就労継続支援B型事業所「みすず」がございます。玉柏会の力を結集し、少しでも地域の皆様のお役に立てる様、努力して参ります。

(管理者兼相談支援専門員 遠藤智一)

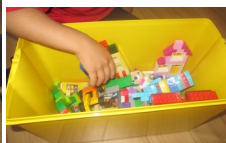
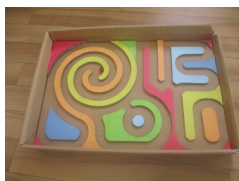
放課後等デイサービス「オークリーブス」

R2.4月 開所しました



4月1日に「放課後等デイサービス オークリーブス」を開所させていただきました。コロナ禍での開所となり、思うように進めない状況もありました。緊急事態宣言が解除された現在も不安や心配が拭えない情勢であり、安心安全なサービスを提供できるよう努めているところです。放課後等デイサービスという新たな分野において、新米の私は日々勉強の毎日ですが、未来ある子供たちの成長すべき大切な時期に少なからず携わることのできる喜びややりがいをありがたく感じています。お互いを知り、理解し合い、認め合う「ともいき」の理念のもと、子供の喜ぶ姿が自分たちの励みや力になることなど通ずる点は多くあると考えています。穴原荘での経験や子育て経験を活かし、子供たちの気持ちに寄り添い、自分自身も一緒に笑い楽しむ中で、共に学び、共に成長していけたらと思っています。

(支援係長 坪内裕美)



オークリーブス 令和2年度 活動方針

令和2年4月1日、オークリーブスは、清水区南岡町(梅陰寺横)に新規オープン致しました。玉柏会として初めてとなる児童対象の福祉サービス事業所になります。対象は、障害をお持ちの小学生、中学生、高校生で、それぞれの学校の放課後と夏休みなど長期休暇の日中の時間にご利用いただき、毎日の日課に沿ってスタッフや仲間と活動することにより、集団

生活の中で自立心や社会性などを養い、ご本人の成長を促していくことを目的としています。まだ始まったばかりですが、今後は、ペアレントトレーニングなども取り入れ、職員の専門性の向上も図り、地域で暮らす障害をお持ちのご本人とご家族に安心してお預けいただける事業所を目指していきたいと考えております。

(管理者兼相談支援専門員 遠藤智一)

「福祉有償運送」を受講しました

オークリーブス指導員 山本智史

福祉有償運送の講習では、実際に介助する側と介助される側で実践する場面がありました。車椅子に乗った方を、専用車両に乗せる場面では常に声掛けを意識し、介助を行いました。

自分が介助される側になって、声掛けしてもらおうと安心して身を任せられることが理解できました。自分が分かっているから大丈夫。という考えは、ご利用者にとって不安を作る要因になります。ご利用者が安心して、車両に乗るためには相手にもわかるよう意思疎通を工夫して行っていく必要があります。

かしわ寮より

毎年恒例のBBQ。今年はコロナウィルスの影響で初めて全員そろっての催しとなりました。
美味しそうな匂いに誘われ食欲に火が付いて、序盤戦は職員もフル回転で焼き続けました。皆さんそれぞれリクエストしたお肉やクッキー、ジュースにお菓子、砂肝をチョイスした方も、それぞれご希望の食材を召し上がって大変賑やかで楽しい会となりました。



穴原荘より

今年の3月下旬～6月は、新コロナの影響により外出できませんでしたが、施設の中での企画を考え、ご利用者と一緒楽しむことができました♪

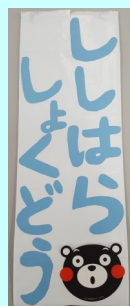
就労G Tボール大会



男性G ラーメンフェス



男性G ビュッフェランチ



女性G 合同運動会



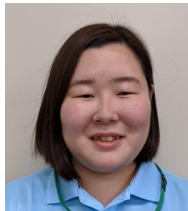
R2.3.1 入社



長澤正義(オークリーブス) ながさわ まさよし

「みずず」と「オークリーブス」で、ドライバーをさせていただきます。
勤務開始より、楽しく学ぶ事の多い毎日です。初心を忘れずに、がんばって参ります。

R2.4.1 入社



須原咲季(穴原荘) すはら さき

4月から入社しました、須原咲季です。ご利用者のQOL向上を目指し、ご利用者一人一人に合わせた支援を行えるよう努力していきます。



杉山明日香(穴原荘) すぎやま あすか

新しい環境の中で、先輩職員の方々、利用者様からたくさん学び、吸収し、成長していきたいと思っています。また、自分の技能、知識向上にも力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

R2.6.1 入社



松風雅子(穴原荘) まつかぜ まさこ

6月より勤務させていただきます、歯科衛生士の松風です。
御利用者の健口(お口の健康)を維持できるように努めます。どうぞよろしくお願い致します。

注目!

新人職員のご紹介です





* つみきのそのさん来所 ～ 園田ひでふみさんによる積木ライブ! ～

みすずは、生産活動(物づくり)がメインです。時折、息抜き活動もあります。2年続けて「つみきのそのさん」に来所して頂き、普段とは違った物づくり(積木活動)を楽しみました。作業室全面を使つてのドミノ倒しは、皆で倒れていく一つ一つの積木に注目し、全てが倒れ終えた時の「達成感の共有」がみすず全体を盛り上げました。一人一人の積み上げ挑戦では、日頃の作業挑戦と同様に自分で作り上げる機会となりました。勿論、支援員の必要に応じたサポートやご利用者に合わせた介入度こそが就労支援と重なりますそして、皆で積み上げていく円筒ドームは、コツコツと大きな形に向けてさらに盛り上がりしました。詳しい内容は、みすずブログでも紹介しております。是非ご覧ください。

ドーム



ドミノ



積み上げ



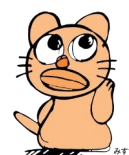
「新型コロナウイルス 感染予防対策」

みすずは、新型コロナウイルス感染症に関しては、みすずでも様々な影響がありました。

通所事業所として、公共交通機関の利用による不安、地域生活上での休日等の行動範囲の制限、また事業所活動では、イベント外出や外部交流の中止、楽しいひと時の昼食では時間差方式や向き合うことも避けております。さらには在宅支援期間として、4月下旬から5月末まで、ご利用者の在宅作業体制による感染拡大防止をしてきました。各自宅での作業にあたり、請負先企業様の快諾やご家族のご協力があったこそのご利用者への支援に繋がりました。そして日頃お世話になっているボランティア様の受入れ休止では非常に切ない想いの中、ご理解して下さいながらも早く以前のようにことのお声にとて励まされております。日々の活動で感染防止の工夫を続けながら生活の質を下げない支援を職員一同努めながら、安心・安全を大前提に通常活動に戻ることを願っています。



すずちゃんのひとこと



感染症には困ってしまう。吾輩にも感染リスクがあるのだろうか。

皆はきちんと手洗い、消毒、マスク着用をしているが…吾輩もマスクをすると毛づくろいが大変だ、皆はこれから暑さやら熱中症対策でも心配だな。

とにかく水分補給だ、最近では外の自動販売機も新しくなったようだし →

…どれどれ、売上貢献に繋げようではないか。

(す ず)



令和元年度 決算報告



社会福祉法人 玉柏会

令和元年度は、新規事業開始のための人件費増加やLED化など施設整備費用等の支出により、減益となった。

令和2年度も、最重要課題である人員採用を積極的に進めることから減益の計画であるが、業務効率化も同時に進め、強い体質の組織づくりを目指していきたい。

(常務理事 濱崎宣雄)

貸借対照表の要旨 令和2年3月30日現在

(単位: 千円)

科 目	金 額
資 産 の 部	
流動資産	569,299
固定資産	1,382,982
（基本財産）	1,132,584
（その他の固定資産）	250,398
資産の部合計	1,952,281
負 債 の 部	
流動負債	70,688
固定負債	219,274
負債の部合計	289,962
純 資 産	
基本金	153,640
国庫補助金等特別積立金	590,206
その他の積立金	108,539
次期繰越活動増減差額	809,934
（うち登記活動増減差額）	33,187
純資産の部合計	1,662,319
負債及び純資産の部合計	1,952,281

事業活動計算書の要旨

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位: 千円)

科 目	金 額
サービス活動増減の部	
サービス活動収益	559,353
サービス活動費用	526,679
サービス活動増減差額	32,674
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益	3,809
サービス活動外費用	3,312
サービス活動外増減差額	497
経常増減差額	33,171
特別増減の部	
特別収益	9,563
特別費用	9,546
特別増減差額	17
当期活動増減差額	33,188
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額の部	776,746
当期末繰越活動増減差額	776,746
次期繰越活動増減差額	33,188

資金収支計画書の要旨

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位: 千円)

科 目	金 額
事業活動による収支	
事業活動収入	563,162
事業活動支出	497,889
事業活動収支差額	65,273
施設整備等による収支	
施設整備等収入	9,546
施設整備等支出	54,333
施設整備等資金収支差額	-44,787
その他の活動による収支	
その他の活動収入	66
その他の活動支出	980
その他の活動収支差額	-914
当期資金収支差額合計	19,572
前期末支払い資金残高	509,757
当期末支払資金残高	529,329

イベント予定は、玉柏会ホームページに、随時更新してまいります。

*7月に毎年開催している『納涼祭』ですが、今年度は中止とさせていただきます。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

<ペアレントトレーニング> 受講生大募集!!

玉柏会の目指している療育の一環として、保護者の方々がより子供の気持ちや障害を理解し接し方や考え方を学ぶ事で、子供への対応に対する不安や悩みを軽減し、子供も適切な対応を受けることで大切な児童期の発達が促進されと考えています。令和2年度9月より開催する予定となっております。ご興味のある方は、QRコードにアクセスして開催内容や要項をご確認お願いいたします。



ご相談は、下記の電話へどうぞ!

電話

054-340-3565

FAX

054-340-3566

E-Mail

endo@tamagashikai.com

すずらん



入所・通所のご利用者

《穴原荘・入所》

3月 宮城島さん

4月 落合さん

《みすず・利用開始》

4月 望月さん

【この記事に関するご意見やお問い合わせは】

電話: 054-394-0311

FAX: 054-394-0312

E-mail: sisiharaso@po4.across.or.jp

QRコード



玉柏会では皆様のお声をお待ちしております。